

## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月6日

上場会社名 東京貴宝株式会社  
 コード番号 7597 URL <http://www.tokyokiho.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 政木 喜仁  
 (氏名) 染 未良生  
 TEL 03-3834-6261  
 配当支払開始予定日 2020年12月3日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,495	40.9	71		104		120	
2020年3月期第2四半期	2,530	0.3	51	38.8	37	37.4	27	71.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	285.69	
2020年3月期第2四半期	62.16	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,816	3,163	46.4
2020年3月期	6,767	3,290	48.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,163百万円 2020年3月期 3,290百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		40.00		40.00	80.00
2021年3月期		40.00			
2021年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

業績予想につきましては、2021年3月期における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、当社の事業活動に与える影響につきまして、現時点で合理的に予測することが困難な状況にあるため、業績予想の開示は見送らせていただきます。影響額の見積もりが可能となった時点で業績予想を開示させていただきます。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	447,856 株	2020年3月期	447,856 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	27,745 株	2020年3月期	27,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	420,111 株	2020年3月期2Q	442,111 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、いまなお厳しい環境に置かれております。コロナ禍の終息が見通せない中、社会経済活動が段階的に再開されており、足元では若干持ち直しの動きがみられます。しかし、欧米や新興国などではより一層の感染拡大がみられ、世界経済に大きな影を落としております。

宝飾業界においても、経済活動の再開により第1四半期累計期間に比べるといくらか回復の兆しは見えております。しかし、感染への警戒感はまだ強いものがあるものと思われ、消費マインドが完全回復したとは言えず、非常に厳しい経営環境であることには変わりありません。

このような状況にあって、当社は7月以降、新型コロナウイルス感染防止措置を取りながら自社主催の大規模催事を再開し、ようやく通常の営業体制に戻ることができました。しかし、前述のような感染リスクに対する警戒感からか集客は思うに任せず、販管費も大きく削減しましたが、売上減をカバーするに至らず、売上・利益ともに前年同期を大きく下回る結果となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高1,495百万円（前年同期比40.9%減）、営業損失71百万円（前年同期は51百万円の営業利益）、経常損失104百万円（前年同期は37百万円の経常利益）、四半期純損失120百万円（前年同期は27百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントを従来の単一セグメントから「宝飾事業」「不動産賃貸事業」の2区分に変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で表示しております。

## ① 宝飾事業

宝飾事業につきましては、前述のとおり、新型コロナウイルス感染拡大により、営業活動が制限された影響で、業績は大きく落ち込むこととなりました。その結果、売上高1,415百万円（前年同期比42.3%減）、営業損失45百万円（前年同期は98百万円の営業利益）となりました。

## ② 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、賃貸収入に大きな変動はなく、賃貸原価は前年度に大規模な立体駐車場の修繕工事を行った事等により15百万円減少しております。その結果、売上高80百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益31百万円（前年同期比101.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ48百万円増の6,816百万円となりました。主な変動は、土地の増加106百万円、現金及び預金の増加58百万円、受取手形及び売掛金の減少111百万円等であります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ176百万円増の3,653百万円となりました。主な変動は、長期借入金の増加283百万円、短期借入金の減少163百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ127百万円減の3,163百万円となりました。主な変動は、利益剰余金の減少136百万円等であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が解除された後も収束が見通せない中、現時点で業績に与える未確定な要素が多く、合理的な算定が困難であることから、引き続き予想値の公表を見送ることといたします。なお、状況が収束し、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	567,255	625,654
受取手形及び売掛金	1,028,990	917,838
商品	3,091,470	3,062,205
その他	62,377	71,222
貸倒引当金	△877	△5,973
流動資産合計	4,749,215	4,670,947
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,342,072	1,448,072
その他	532,706	530,924
有形固定資産合計	1,874,778	1,978,996
無形固定資産	9,294	11,918
投資その他の資産		
その他	181,785	157,115
貸倒引当金	△47,573	△2,724
投資その他の資産合計	134,211	154,391
固定資産合計	2,018,285	2,145,306
資産合計	6,767,501	6,816,254
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	217,864	253,099
短期借入金	2,136,944	1,973,330
未払法人税等	15,949	8,213
返品調整引当金	1,704	-
その他	206,262	204,473
流動負債合計	2,578,723	2,439,116
固定負債		
社債	130,000	160,000
長期借入金	650,674	934,407
退職給付引当金	72,789	69,551
その他	44,530	50,082
固定負債合計	897,993	1,214,041
負債合計	3,476,717	3,653,157

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	636,606	636,606
資本剰余金	504,033	504,033
利益剰余金	2,236,278	2,099,453
自己株式	△84,741	△84,741
株主資本合計	3,292,176	3,155,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,393	7,744
評価・換算差額等合計	△1,393	7,744
純資産合計	3,290,783	3,163,096
負債純資産合計	6,767,501	6,816,254

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	2,530,787	1,495,607
売上原価	1,745,344	997,423
売上総利益	785,442	498,183
返品調整引当金戻入額	1,628	1,704
返品調整引当金繰入額	2,553	-
差引売上総利益	784,517	499,887
販売費及び一般管理費		
販売促進費	229,683	182,291
旅費及び交通費	82,258	55,467
役員報酬	26,400	26,100
従業員給料	204,585	150,405
法定福利費	37,671	39,256
退職給付費用	8,369	173
貸倒引当金繰入額	1,478	4,979
その他	142,399	112,753
販売費及び一般管理費合計	732,847	571,428
営業利益又は営業損失(△)	51,670	△71,540
営業外収益		
受取利息	755	550
受取配当金	3,666	3,812
その他	1,969	1,718
営業外収益合計	6,390	6,080
営業外費用		
支払利息	12,186	10,922
コミットメントフィー	2,802	23,796
その他	5,797	3,834
営業外費用合計	20,787	38,553
経常利益又は経常損失(△)	37,273	△104,013
特別利益		
雇用調整助成金	-	45,373
特別利益合計	-	45,373
特別損失		
休業手当	-	59,684
特別損失合計	-	59,684
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	37,273	△118,323
法人税等	9,793	1,696
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,480	△120,020



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	37,273	△118,323
減価償却費	20,399	22,914
雇用調整助成金	-	△45,373
休業手当	-	59,684
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,478	4,979
受取利息及び受取配当金	△4,421	△4,362
支払利息	12,186	10,922
売上債権の増減額(△は増加)	△172,851	111,151
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,268	29,264
仕入債務の増減額(△は減少)	93,750	35,235
その他	16,989	△30,896
小計	12,072	75,195
利息及び配当金の受取額	4,416	4,361
利息の支払額	△12,288	△10,928
雇用調整助成金の受取額	-	45,373
休業手当の支払額	-	△59,684
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	3,788	△8,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,988	46,133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△39,000	△9,000
定期預金の払戻による収入	18,000	48,000
有形固定資産の取得による支出	△9,271	△123,437
投資有価証券の取得による支出	△3,813	△4,003
貸付けによる支出	-	△21,600
貸付金の回収による収入	12,668	13,058
その他	△90	△3,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,507	△100,195
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,787,700	1,572,500
短期借入金の返済による支出	△1,515,560	△1,573,500
長期借入れによる収入	300,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△334,704	△378,881
社債の発行による収入	-	78,011
社債の償還による支出	△20,000	△30,000
配当金の支払額	△17,598	△16,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	199,837	151,459
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	186,318	97,397
現金及び現金同等物の期首残高	397,441	427,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	583,759	524,689

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(不動産賃貸事業に関する変更)

不動産賃貸取引について、従来、「投資不動産賃貸料」は営業外収益、「不動産賃貸原価」は営業外費用として計上しておりました。当事業年度より賃貸収入も安定的な収入源の一つであるとの認識のもと不動産事業部を新設し、不動産賃貸事業を主たる事業と位置づけております。これに伴い事業運営の実態を適切に表示するため、第1四半期会計期間より「投資不動産賃貸料」は「売上高」、「不動産賃貸原価」は「売上原価」として計上する方法に変更しております。

また、この表示方法を反映させるため、前第2四半期累計期間及び前事業年度の四半期財務諸表及び財務諸表の組替えを行っております。

この結果、「投資その他の資産」の区分に表示していた投資不動産は、「有形固定資産」の区分に表示し、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書において営業外収益の「投資不動産賃貸料」に表示していた79,116千円は「売上高」に、「営業外費用」の「不動産賃貸原価」に表示していた58,918千円は「売上原価」に組替えております。

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間において営業外費用の「その他」に含めて表示おりました「コミットメントフィー」は、金額的重要性が増したため当第2四半期累計期間より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期累計期間の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期累計期間の損益計算書において、営業外費用の「その他」に表示していた2,802千円は、「コミットメントフィー」2,802千円として組み替えております。

(会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期 損益計算書 計上額
	宝飾事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,451,670	79,116	2,530,787	—	2,530,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,451,670	79,116	2,530,787	—	2,530,787
セグメント利益	99,291	15,498	114,789	△63,119	51,670

(注) セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

## II 当第2四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期 損益計算書 計上額
	宝飾事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,415,365	80,242	1,495,607	—	1,495,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,415,365	80,242	1,495,607	—	1,495,607
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△45,739	31,165	△14,574	△56,965	△71,540

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「注記事項(追加情報)(表示方法の変更)(不動産賃貸事業に関する変更)」に記載の通り、第1四半期会計期間より表示方法の変更を行っており、営業外収益及び営業外費用に計上しておりました投資不動産賃貸料及び不動産賃貸原価を報告セグメントの「不動産賃貸事業」に計上しております。なお、前第2四半期累計期間の報告セグメントの売上高及び利益の金額に関する情報については変更後の表示区分により記載しております。